



19監庶Dキ-2第1号

平成19年4月30日

国土交通省道路局長 様

安曇野市長 平 林 伊三郎



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

貴職におかれましては、平素より道路事業等にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成19年4月2日付国道企第114号でご依頼のありました、中期的な計画の作成にあつての意見を、別紙のとおり提出いたします。

安曇野市 都市建設部

担当 久保田 栄次 (部長)

TEL 0263-72-3111(代)

FAX 0263-72-8340

(別紙)

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

① 交通の拠点や観光地等を結ぶ幹線道路網の整備

市内においては、南北に縦断する道路はかなり整備が進んでいると感じておりますが、豊科インターと西部山麓の観光地帯を結ぶ道路等、交通拠点や国道と東西に結ぶ幹線道路の整備は不十分であり、早期に整備がなされるよう望んでおります。

また、高速道路網の整備により、都市圏との距離が近くなったと感じておりますが、長野県内の中信地域と東信地域を結ぶ道路は、地域の交流や相互の地域活性化のためにも重要であり、早期に計画がなされるよう期待しております。

② 生活関連道路の整備・交通安全対策

市内における国・県道は、一次的な整備は概ね完了している状況にありますが、歩道の未整備な箇所も多く、交通事故防止のためにも安全対策が急がれるところであります。

また、生活道路としての市道については、改良率・舗装率とも67～68%と、まだまだ整備を必要としている箇所が多い状況にありまして、厳しい財政状況の折、有効且つ効率的な補助事業等の制度の充実を希望しております。

③ 道路管理の充実

市内における市道の改良・舗装が進む中で、経年変化による老朽化のため、維持補修を必要とする箇所が増加をしております。道路関係事業も新設改良より維持補修に重点を移しつつあると感じておりまして、維持補修事業を行うための、補助事業等の制度の充実が望まれます。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

① 事業の必要性の確認

道路整備を進める上で、必要性を十分検討することが重要であり、必要性が確認された事業は、積極的に推進するべきと考えます。また、かなりの期間を要する事業では、途中で必要性を再確認することも必要だと思っております。

② 事業のスピードアップ

近年、世の中の動きも速くなってきており、長い期間を費やしている事業では、経済情勢や交通環境が大きく変わってしまうことも考えられますので、集中的・効率的に事業推進を図ることも重要であります。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

地方から見ますと、都市部における道路整備はほぼ完了の域にあると見えますが、地方部では生活道路を中心に、整備の必要な道路が相当残っていると感じております。今後も地方部に目を向けた有効な道路政策が展開されることを期待しております。